

西中の風

伊丹市立西中学校長
大西 規之

全校集会で話したこと

10月12日（金）の4校時に後期生徒会役員及び学級委員の認証式を行いました。その中で、後期の役員・委員のみなさんに「よりよい西中学校になるように様々な活動をお願いします」と、訴えかけました。以下、その時の話を掲載します。

「ただいま、認証されました生徒会の役員、そして、各学級委員のみなさん、各立場での役職を全うされますようよろしくお願いします。

さて、立候補で各役員や委員になるために抱負を語った人も多いと思います。その抱負を聞いて『この人だったら任せられるかもしれない』『この人を信じてみよう』と選んでくれたと思います。だから、胸に委員のバッジをつけることに誇りと責任をもって、自ら進んで自分の仕事をしてほしいと思います。また、逆に選んだ側の人、立候補した人の抱負を聞いて選んだり、この人だからと思って推薦したりしたと思います。そのことを肝に銘じて、生徒会役員や学級委員の言うことをしっかりと聞いたり協力したりするなど、サポートを怠らないようにしてください。私から各委員会にお願いがあります。次の3つのことについて特に取り組んでください。

まず1つめは、挨拶がしっかりできるようになってほしいということです。この前先生たちの研究会で尼崎の中学校に行きました。すると、その学校の生徒が立ち止まってこちらの顔を見て『こんにちは』『こんにちは』と挨拶してくれました。私はすごく気持ちがいいなと思っていましたら、他の先生方も私と同じように感じたらしく、『この学校の生徒は挨拶が素晴らしく、本当に気持ちがいいですね』とみなさんが言われていました。このような挨拶が広がったのは、どこかの部活動が最初にやり始めたそうです。『それはいいことだ』と思われた他の部活動の先生も『よし、まねをしよう』とどんどん学校中に広がっていったようです。西中もどの部活動からでもいいです。どのクラスからでもいいです。委員会が呼びかけて相手が気持ちよくなる挨拶ができるようにしてほしいと思います。11月6日（火）には、研究発表会があり、たくさんの方が西中学校に来られます。気持ちのいい挨拶でお迎えしましょう。

2つめは、学校をきれいにしてほしいということです。校長先生や教頭先生、技能員の西久保さんが掃除をしている場面を見たことがありますか。先生はきれいな学校が好きです。学校がきれいだと、気持ちが落ち着きます。気持ちが落ち着くと、しっかり考えたり、しっかり勉強できたりします。そうすると、みなさんの学校生活が充実したものになります。7月の保護者アンケートで「下足場を作って、校内を上履きにすると学校中がきれいで清潔になるのではないか」というご意見をいただきました。しかし、「下足場を作ることは難しく、グラウンドから砂を上げないように、また、学校がきれいになるよう掃除をしっかりやるようしっかり指導します」と学校だよりで回答しました。だから、「委員会で砂を校舎内に上げない」また、「掃除をしっかりとやる」取り組みをしてほしいと思います。

3つめは、トイレのスリッパです。私が見る限り、だいぶんきれいにスリッパがそろえられるようになったと思います。学校がきれいのと同様に、全ての物が整然と置かれていると気持ちが落ち着きます。そうすると、いらいらすることが少なくなり、授業には集中できるし、人に嫌なことを言ったり、物を壊したりするという言動もなくなると思います。

委員会で、ぜひ率先して取り組んでください。

今後、西中学校の生徒会活動及び学級活動がますます発展し、よりよい学校になることを期待しています。これをもちまして認証式の挨拶とします」

「挨拶」「掃除」「物をそろえる」どれも当たり前のことです。「当たり前のことが当たり前にできる」ことが、「当たり前でないすごいことまでできるようになる」と思います。ぜひチャレンジしてください。

日々ホームページ更新中！！



